

# りんご農家における農福連携事例

～農家の高齢化・担い手不足を補う障がい者マンパワー～

---



社会福祉法人 七峰会

就労サポートひろさき 小山内 猛

# 内容

1. 『就労サポートひろさき』について
2. 農福連携のきっかけ
3. りんご農家での受け入れ事例
4. (有)イーエム総合ネット弘前における受け入れ事例
5. りんご農家との農福連携の可能性

# 『就労サポートひろさき』について

- 開 設      平成19年5月1日
- 住 所      弘前市熊嶋字亀田184-1
- 就労移行支援事業                      定員20名  
就労継続支援B型事業                      定員20名
- 職場適応援助者(ジョブコーチ) 2名在籍
- 津軽障害者就業・生活支援センター 併設

# プログラム内容

## 作業訓練

食品製造、食品加工

清掃、受託加工・商品化等

## スキルアップ

PC練習、履歴書作成・面接練習

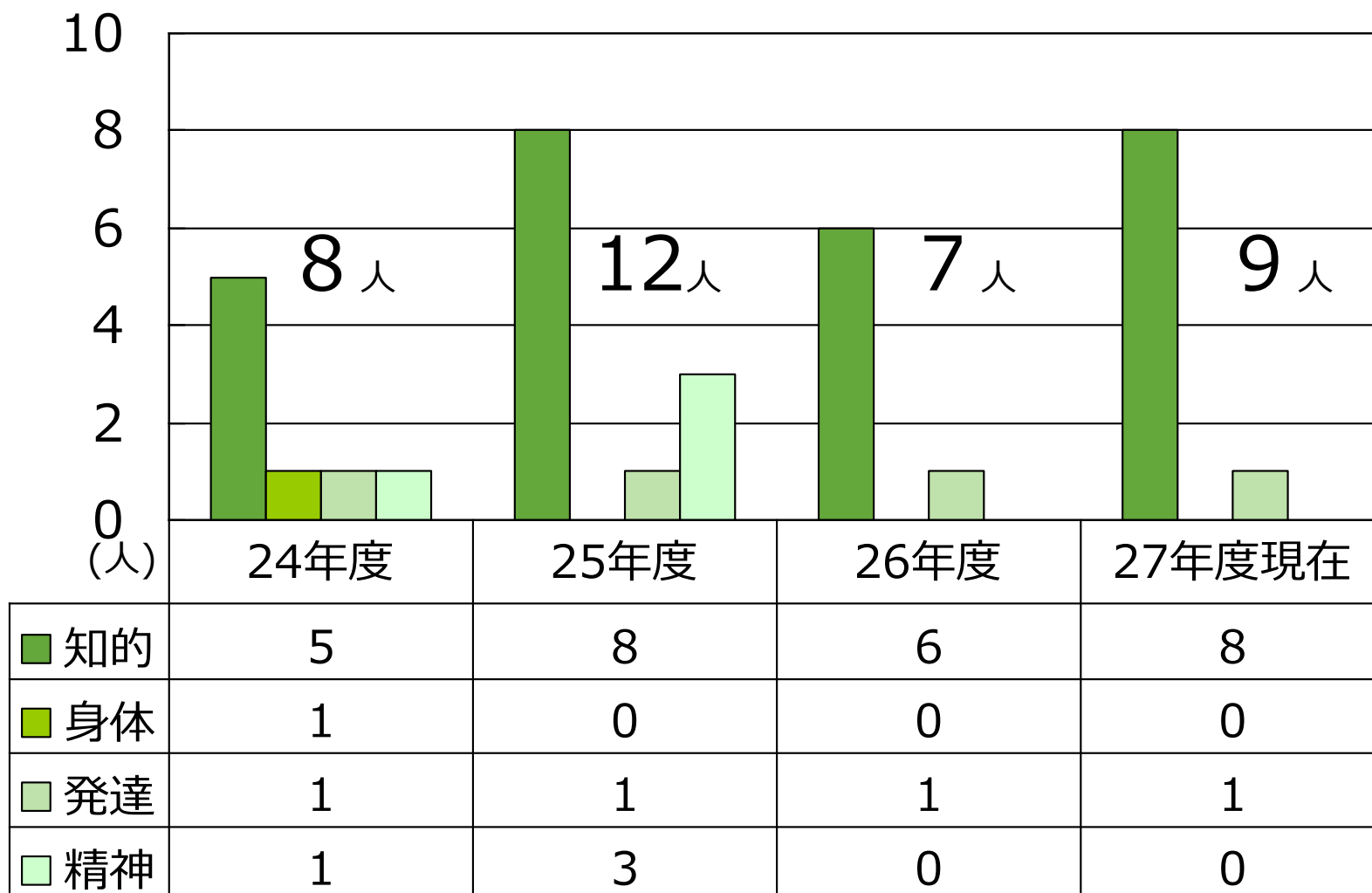
対人技能トレーニング、コミュニケーションSST等

## 実践訓練～職場定着

施設外就労、施設外支援

求職活動、職場定着支援

# 就労実績



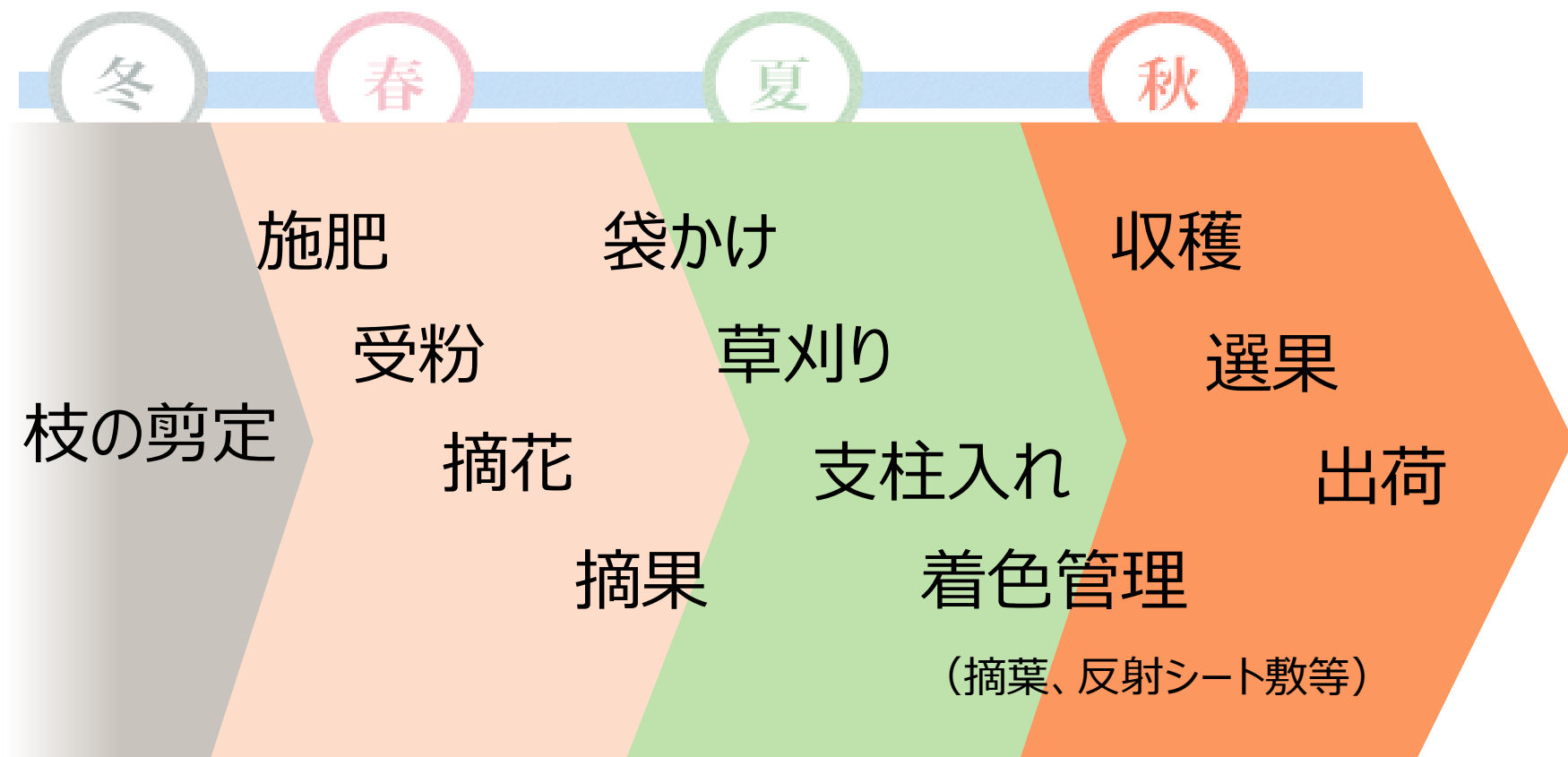
## 農福連携のきっかけ①

- 昭和53年 知的障害者の通勤寮を開所以来、障がい者の『働く』を支援
- 農業を職業訓練の一部として実施(りんご以外も)
- 地域住民との交流の中で、当初から日中活動の場として、りんご畑での作業を受託
- 『農福連携』という言葉以前から、自然な形で、**マンパワー**として活躍

# りんご農家で障がい者が働くのは難しい？

- りんごの栽培においては機械化が難しく、人の手間に頼らなければいけない部分が多い。
- 枝の剪定や選果等、熟練の技術や判断力が求められる段階もあるが…
- 単純作業の繰り返しが多い
- 難しい作業であっても、**分業化、切り出し**すれば可能

# りんご栽培の1年





# りんご栽培における作業の切り出し

枝の剪定→剪定した枝拾い

着色管理→反射シート片付け、剥いた袋回収

収穫→手かご運搬、りんご箱運搬、落ち実回収

出荷→車両への積載

等々…

## 農福連携のきっかけ②

- 農家の高齢化・担い手不足によりりんご畑の維持が困難になる畑が増えてきたこともあり、高齢のりんご農家の方からの**依頼が増えた**
- 特にりんご箱の運搬等、腰に負担のかかる作業
- 受け入れ農家の配慮や理解が少しずつ得られてきた
- 参加した方の充実ぶりが、他利用者もやってみたいという波及効果に繋がってきた

## りんご農家での受け入れ事例①

きっかけ            地域住民からの口コミ

作業内容            りんごの収穫作業

作業時間            9 : 00 ~ 16 : 00

作業参加者	知的障がいをもつ利用者	3名
	支援員	1名

受け入れが初めてであり、支援者がついて欲しいと依頼

## りんご農家での受け入れ事例①

評 価・・・農家の方が予想していた作業期待値（理解度、正確性、能率等）を上回る状況と、関係性の構築がスムーズに図られたことで、受け入れに対する不安が軽減された。

現在の状況・・・農家の方が参加利用者に対して**直接指導**することに**自信**を持って取り組んでいただいている。収穫以外の作業依頼も増加。支援者の同行は不要。



## りんご農家での受け入れ事例②

きっかけ	農機具会社に勤めていた知的障がいを持った利用者があり、その働きぶりを口コミで聞いたりりんご農家より作業の依頼	
作業内容	選果済みのりんご箱をパレットへ積む作業	
作業時間	8 : 00 ~ 16 : 00	
作業参加者	知的障がいを有する利用者	1名

## りんご農家での受け入れ事例②

評 価・・・マンツーマンの指導から開始。作業の習熟度合いをみて参加利用者に任せる場面を増やして取り組んだ。複雑な作業でも、丁寧な指導や障がいの程度によっては取り組むことが出来ることを感じた。

現在の状況・・・摘葉、収穫等の作業依頼も増えた。  
参加利用者の能力・適性を見極めて、作業配置を考えていただけのようになった。  
参加利用者の状態によって、**作業時間の融通**に配慮していただいている。

# 参加した利用者の感想

- 外での作業は、開放的で気持ちがいい
- 作業内容が難しいと思ったが、意外と出来た
- 作業の合間にある休憩（一服）でコーヒーを飲んだりお菓子を食べたりすることが楽しい

等々…

# (有)イーエム総合ネット弘前 での受け入れ事例

きっかけ	耕作放棄地を利用し、トマト等の栽培 をしたいが人手不足	
作業内容	畑の石除去、栽培～収穫まで	
作業時間	9 : 00 ~ 1 5 : 0 0	
作業参加者	知的障がい有する利用者	3名
	支援員	1名
実習開始	平成26年月5下旬	

受け入れが初めてであり、支援者が同行し様子を見ることとした



# (有)イーエム総合ネット弘前 での受け入れ事例

## 《これまでの経過》

- ・作業内容は単純である為、現場作業員の指示のみで可と判断いただき、作業指示は現場従業員に一任し、送迎時に状況確認する形とした
- ・多品目栽培で作業工程・内容が多岐にわたり、参加利用者の技術習得になった
- ・現場従業員が参加利用者との円滑な関係性を構築を図り、会社の社員と同様の待遇で慰労会等も参加
- ・参加利用者個々の障がい特性、作業能力について情報共有を図り、作業配置や、モチベーションの維持・向上の為の相談・声掛けもしていただく

# (有)イーエム総合ネット弘前 での受け入れ事例

## 《これまでの経過》

- ・体験実習受け入れについては、柔軟に対応。実習依頼時は、個々の特性を把握してもらう為の個人調書を確認してもらう。
- ・H26.11 実習参加者より **5名**雇用（知的障がい 5名）
- ・農閑期となる冬は、りんご選果工場ラインに入り作業。  
一人一人の適正に応じた作業配置。飽きやすい方にはこまめに作業内容をローテーション
- ・H27年より、りんご栽培の作業へ参加（摘花・摘葉  
収穫）習得状況をこまめに確認し、根気よく指導



# (有)イーエム総合ネット弘前 での受け入れ事例

## 《現在の状況》

- ・事業所全体で、障がい者の受け入れ・雇用については協力的。実習の評価による雇用の検討は常にしている
- ・H27.5 実習参加者より 1名雇用（知的障がい 1名）  
H27.11に1名 離職したが、現在 **5名**の方が社員として働いている
- ・受け入れ当初の不安は全くなく、障がいの特性・個々の性格を十分に把握し対応。気持ちの不安が大きくなりやすい方への**相談支援**が自然な形で出来ている

# りんご農家との農福連携の可能性

- 障がいをもった方でも作業に携わることが出来るということが、より認知されていくことが必要
- 明確な判断基準がある作業にしていただくことで、参加場面が増える
- 高齢化、担い手不足を補うマンパワーに十分なり得る
- 雇用の可能性も広げられる